

ベーン式風速・風量計  
EA739AG  
EA739AG-1

◆仕様

計測種類	NTC	ベーン(風速)	風量(演算)
計測範囲	0~50°C	0.3~20m/s	0~99,999m <sup>3</sup> /h
精度(±1digit)	±0.5°C	±(0.1m/s+演算値の1.5%)	—
分解能	0.1°C	0.01m/s	0.1m <sup>3</sup> /h(0~+99.9m <sup>3</sup> /h) 1m <sup>3</sup> /h(100~99,999m <sup>3</sup> /h)

- 測定頻度…2回/秒
- 操作温度…0~50°C
- 電源…9Vブロック型電池×1個  
(モニター電池付属)
- バッテリー寿命…約50時間
- 外径寸法…105×45×277(H)mm
- 重量…230g
- ハウジング…ABS樹脂

◆各部名称



◆EA739AG-1(風量ファンネル)

- ベンチレーター用、ディスクバルブ用各1つずつのセットです。

ベンチレーター用ファンネル(330×330mm)



ディスクバルブ用ファンネル(200×200mm)



◆特徴

- ダクト断面積が簡単に入力でき、風速計測がよりスムーズになりました。  
また、オプションの風量ファンネルを使用すれば、ベンチレーター・グリルやディスクバルブでの計測を円滑に行うことができます。
- 気流の方向(吹き出しor吸い込み)をディスプレイに表示
- 1台で、風速、風量、温度を計測
- ポイント平均・時間平均計算機能
- 最大値・最小値の表示
- ホールド機能
- 見やすいバックライト付
- オートオフ機能

●径の大きなベーンセンサー(φ100mm)は、吸気口などでの低風速・中風速の乱流計測に適しています。

ベーン式風速計は、気流によって回転したベーンの回転数を、パルス信号に変換することによって風速を測定します。

ダクト内では比較的均等に流れている気流も、排出口では大きく変動します。径の大きいベーンセンサーは、グリッドから発生する乱気流の平均速度を計測することが出来るため、排出口での風速計測に最適です。

